

# 令和6年度 地域コーディネーター等研修会

## 第1日目 「CS（コミュニティ・スクール）・地域学校協働活動を知ろう」

CS・地域学校協働活動A	CS・地域学校協働活動の基礎・基本 ～分からないこと・困っていることをコンサルタントに聞いてみよう～
講義Ⅰ・演習Ⅰ	瀬戸市教育委員会学校教育課 CS統括コーディネーター 愛知県CS・地域学校協働活動コンサルタント 船坂 礼子 氏
<p>瀬戸市の取組を基に、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の導入のプロセスや活動の具体について教えていただきました。子供たちや教職員の感想が動画で紹介され、コミュニティ・スクールがいかに魅力的な取組であるか実感することができました。後半はグループで自身の取組を紹介し合ったり、疑問を出し合ったりしました。学校運営協議会の協議の在り方や地域学校協働活動推進員の人選等の質問に回答いただき、参加者が日頃感じている疑問を解決する機会となりました。</p> 	
CS・地域学校協働活動B	わがまちのCS・地域学校協働活動①
活動報告Ⅰ	東浦町立森岡小学校 教頭 松尾 統央 氏
<p>東浦町教育委員会指導主事としてコミュニティ・スクールの導入に携わられた経験を基に、東浦町のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動について御紹介いただきました。東浦町では教育委員会主導で全校に導入し、各校で特色ある取組が展開されています。学校支援活動はもとより、アフタークラブ等の地域主導の活動も御紹介いただきました。現在、教頭として地域の協力のありがたさ、教育活動の充実を実感しているというお話は説得力があり、参加者にとってコミュニティ・スクールのよさを実感することにつながりました。</p> 	
CS・地域学校協働活動B	わがまちのCS・地域学校協働活動②
活動報告Ⅱ	静岡県裾野市立南小学校 CSディレクター ミツ石 純子 氏
<p>裾野市立南小学校のコミュニティ・スクール、地域学校協働活動について御紹介いただきました。南小学校では、応援団である「夢と輝きの教育推進会」が年4回、学校運営協議会が年6回開催され、子供たちの声も反映されています。シニアクラブやダディーズ等の関わりや、オセロを楽しむ会、漢検チャレンジ等の活動を御紹介いただきました。地域の方々と関わることで子供たちが成長し、地域の方々にとっても学校が生涯学習の場となっているというお話から、学校と地域の連携・協働の意義や大切さを学ぶことができました。</p> 	

## 第2日目 「地域学校協働活動推進員の果たす役割と展望」

CS・地域学校協働活動 マネジメントA	学校と地域の連携・協働の実際 ～地域学校協働活動推進員に期待される役割とは～
講義Ⅱ	津島市地域学校協働本部 統括的な地域学校協働活動推進員 梶村 明人 氏
<p>津島市のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の取組を御紹介いただきながら、地域学校協働活動推進員の役割についてお話いただきました。津島市立暁中学校の地域学校協働活動推進員でいらっしゃる富田恵様も講師に加わってくださり、推進員としての喜びや苦勞等、本音も交えながらお話しくださいました。6W3Hの視点をもつこと、大人も子供もつなぐものはそれぞれの学びであること、「情報」を伝えたかではなく「思い」が伝わったかが大事であること等、推進員として大切なことを学ぶことができました。</p> 	
CS・地域学校協働活動 マネジメントB	さあ、熟議を始めよう！ ～目標やビジョンを共有するための熟議の進め方～
演習Ⅱ	津島市地域学校協働本部 統括的な地域学校協働活動推進員 梶村 明人 氏
<p>熟議が大事だと理解しながらも、その進め方がよく分からないという声に答えるために演習を実施しました。4～5名の15グループがそれぞれ「えんたくん」を囲み、付箋を貼ったりまとめたりしながらテーマについて話し合いました。そして、ワールド・カフェ方式により、話し合った内容を共有しました。実際に体験することをとおして、熟議の具体的な流れを知るとともに、ファシリテーターとしての動きや気配りを学ぶことができました。演習をおとした学びが、各地域や学校での充実した熟議へとつながっていくものと思います。</p> 	

第3日目 「学校を核とした地域づくり、まちづくり」	
地域づくり・まちづくりA	人と人をつなぐボランティア ～これからのボランティアのカタチ～
講義Ⅲ	特定非営利活動法人ボラみみより情報局 事務局長 佐原 恵津子 氏
<p>学校と地域の連携・協働においてボランティアの参画が大きな意味をもつ中、ボランティアの在り方についてお話しいただきました。ボランティアは、「自発性・主体性」「無償性」「公益性・社会性」「先駆性・開拓性」「継続性」を原則としつつも、考え方やベースとなる知識は様々であり、「ボランティア」のとらえもまた様々であることをワークをとおして学びました。また、社会の役に立ちたいと考える人は多く、「きっかけ」と「情報」を提供し、「つなぎ」「ひろげ」「きずく」ことが大切であることを教えていただきました。</p> 	
地域づくり・まちづくりB	地域の中に学校を 学校の中に地域を
講義Ⅳ	府中市立府中明郷学園 学校運営協議会会長 立石 克昭 氏
<p>府中市立府中明郷学園の様々な取組を基に、学校と地域の連携・協働の在り方についてお話しいただきました。地域の方から地域を学ぶ「明郷タイム」、学校と地域で1年生を支える「スタートカリキュラム」、9か年にわたる「地域協創カリキュラム」、地元企業に支えられた「模擬会社Links」等、魅力的な実践を御紹介いただきました。「地域を担う子供たちを支えることは地域への投資である」「故郷に錦を織り続ける人を育てる」という言葉が印象的で、学校と地域の連携・協働のあるべき姿を学ぶことができました。</p> 	

第4日目 「CS・地域学校協働活動における課題と展望」	
連携・協働の展望A	子供を真ん中にした人づくり・地域づくり
講義Ⅴ	愛知教育大学 教授、文部科学省CSマイスター 風岡 治 氏
<p>「こどもまんなか」とは、「子供たちが健全に成長し、安心して暮らせる社会を目指すもの」であり、それが求められるようになった背景や、子供を真ん中にしたコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の具体事例を教えていただきました。これからは「学校(子供)から地域(大人)へ」というベクトルも大切に、子供たちを支援し育てていくという視点に加えて、子供たちが自分たちで考え、何をしていくのか主体的に意見表明することに対して地域がどう応えていくかという視点をもつことが大切であることを学びました。</p> 	
連携・協働の展望B	これからのCS・地域学校協働活動の在り方
講義Ⅵ	特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事 文部科学省CSマイスター 竹原 和泉 氏
<p>CS・地域学校協働活動の在り方について、Why、How、Whatの視点からお話しいただきました。子供が様々な経験や出会いをとおして学びを深められるよう、地域には「本物」と出合わせ、子供の本気を高めていくことが求められていると教えていただきました。また、そのための学校運営協議会の仕組みや地域学校協働活動の具体事例を御紹介いただきました。コミュニティ・スクールは「漢方薬」「ぬか床」であり、皆の後ろ盾となって、子供たちの豊かな学び、ソーシャルキャピタルにつながっていくものだとして学ぶことができました。</p> 	

第5日目 「地域全体で子供たちを支える仕組み」	
子供を支える仕組みA	放課後はゴールデンタイム ～地域のみんで子供を支える～
講義Ⅶ	放課後NPOアフタースクール 代表理事 平岩 国泰 氏
<p>時間・空間・仲間が失われているなど、放課後の子供たちを取り巻く環境は厳しいが、放課後には「自由、挑戦、夢中、多様、社会、仲間」という価値があり、「成長のゴールデンタイム」であると教えていただきました。そして、小学校施設を活用したアフタースクール等の取組を御紹介いただきました。「みんな絶対にいいところがある」との考えを大切に、社会と子供たちをつなぎ直す必要があること、放課後の居場所、ありのままを受け止めてくれる人の存在が子供を幸せにし、子供が幸せになると皆が幸せになると学ぶことができました。</p> 	

子供を支える仕組みB	子供たちの育ちを支える子ども食堂
活動報告Ⅲ	認定NPO法人葵風 理事長 月東 佳寿美 氏
<p>葵風が展開されている事業の中から「子ども食堂・フードドライブ」「緊急的支援」を中心に御紹介いただきました。事業の中では、子供たちのアイデアや主体性、地域との関わりをとても大切にされていました。地域には様々な特性をもった子、家庭環境等の困難を抱えた子がおり、一人一人に寄り添い、笑顔にしていけることが大切であり、「楽しそうな子供たちと一緒に活動できるのは私たちの幸せ」だと話されました。関係機関と連携を図りながら地域全体で子供たちを支えていくことの大切さを学ぶことができました。</p>	
子供を支える仕組みB	子どもたちの豊かな学びを大切にした放課後子ども教室
活動報告Ⅳ	知多市福祉子ども部子ども若者支援課 主任 大槌 祥恵 氏 主事 久野 美穂 氏
<p>知多市では、「地域の子供は地域で育てる」という理念の下、放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に推進する「知多市放課後子ども総合プラン」に取り組まれており、両者の違いや放課後子ども教室の運営、活動内容等について御紹介いただきました。学校の理解を得て一体的な取組が長く続いていること、地域の方や地元企業が参画し、切り絵や和太鼓等を取り上げて子供たちの学びと体験を支えていること等を御教示いただき、放課後子ども教室の意義や魅力、可能性を学ぶことができました。</p>	

